

臨床研究「皮膚科ナショナルデータベース画像を用いた AI 腫瘍診断システム研究」について

筑波大学附属病院皮膚科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2000年1月1日から2019年5月31日までに筑波大学および下記リストにある施設で皮膚疾患の診断や治療を受けた患者さんです。

1. 大阪大学
2. 浜松医科大学
3. 東北大学
4. 東京大学
5. 慶応義塾大学
6. 東京女子医科大学 東医療センター
7. 日本医科大学武蔵小杉病院
8. 新潟大学 皮膚科
9. 山梨大学 皮膚科
10. 信州大学 皮膚科
11. 京都大学 皮膚科
12. 高知大学 皮膚科
13. 九州大学 皮膚科
14. 熊本大学 皮膚科
15. 琉球大学 皮膚科

② 研究の意義・目的・方法

レントゲン写真やCT画像を人工知能（AI）により自動診断するシステムの開発が進んでおり、近い将来AIによる自動読影が可能となると考えられています。一方、皮膚科領域はテレダーマトロジーとも呼ばれる遠隔診断システムが民間業者によりす

に実用化していますが、これはAIではなく皮膚科医が写真や臨床情報を基に遠隔診断しているため、多くの症例を短時間に処理することはできません。

AIの開発には多量の皮膚病の写真が必要であることから、今回日本皮膚科学会が主導し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による研究費を財源とした皮膚病を集めた国家的なデータベースを作成する研究が行われ、上のリストにある施設がこのプロジェクトに参加して臨床写真、ダーモスコープ写真、病理組織写真、そしてそれらの症例に紐付けされた臨床情報が集積されました。

今回、このデータベースを使った皮膚腫瘍の診断補助システムの開発を行います。なお、データベースとして蓄積されている情報は既に個人情報削除された状態となっておりますので、利用に際してあなたの個人情報が流出する恐れはありません。

③ 研究機関名・研究者名

筑波大学皮膚科・藤澤 康弘

生命科学インスティテュート・石田 満理

SOINN 株式会社・岩下 耕大

④ 研究資金

共同研究として行い、資金は生命科学インスティテュートから提供されます。研究課題名「人工知能による皮膚疾患診断支援システムの研究開発」の開発費として得た研究費（総額 4800 万円、受け入れ者：藤澤康弘）の一部を本研究に使用します。

⑤ 保有する個人情報に関する利用目的

上記②で説明したとおり、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切使用しません。

⑥ 保有する個人情報の開示手続

ご本人の写真が使用されているかどうかについてお知りになりたい場合は下記の連絡先にご連絡ください。なお、既に写真が加工されて機械学習に使用されるなどした後は特定の写真を削除することが出来なくなりますのでご注意ください。

⑦ 研究期間

倫理委員会承認～2022年12月31日までとなります。

⑧ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：皮膚科 藤澤 康弘

電話・FAX：029-853-3128（平日10：00-17：00）